

令和3年度直営管理公園運営状況

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
1	上野恩賜公園	台東区上野公園・池之端	A	<p>【上野恩賜公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が多く安全対策に特に配慮が必要な公園の特性を踏まえ、日常的に警察と密に連携した取組を行っている。不適正利用抑制のため、巡回点検等を強化し、公園の適正な利用と安全管理に努めた。また、多くの苦情が寄せられるスケートボード利用について、周知掲示の強化や夜間警備の実施などにより、不適正利用の防止に努めた。 ・老朽化施設の改修計画を取りまとめ、今後の効果的な維持補修のための基礎資料を作成した。また、野球場の水はけや不陸の改善、定期的なグラウンド整備や芝生管理等を適切に行い、良好な状態を維持することで稼働率の改善と利用者サービスの向上を図った。 ・国や台東区、上野地区の文化施設、大学、寛永寺、観光協会等と連携したエリアマネジメントの取組を推進した。特に、近隣藝術大学との連携では、上野トイレミュージアム、芸術の散歩道など、独創的な取組が継続的に展開し、公園の魅力向上だけでなく、地域価値の向上に大きく寄与した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、園内の一部立入制限を迅速に実施し、利用者の問い合わせ等への対応を確実に実施するなど、直営公園ならではの対応を行うとともに、他の指定管理者公園への情報共有を行った。特に花見の時期は宴会等を規制し、利用者からは多くの反応があったが、「新しいお花見ルール」を定め、各問い合わせに適切に対応することで、コロナ禍という困難な社会的局面においても、都民の信頼を維持することができた。 ・利用率が非常に高い遊具について、きめ細やかな点検と即時修繕等の対応により、日々の安全性の確保に努めるとともに、施設配置の見直しや改修を行い、より安全に利用できる環境整備を行った。 ・年間1,000万人以上が訪れる「東京の顔」となる公園のため、トイレなどの施設清掃についての要望が多い状況である。清掃頻度は高く、適切に維持しているところではあるが、利用者満足度の向上のための工夫を行っていく必要がある。
2	井の頭恩賜公園	武蔵野市御殿山、吉祥寺南町、三鷹市井の頭・下連雀・牟礼	A	<p>【井の頭恩賜公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車対策として、武蔵野市、三鷹市と連携し放置自転車防止キャンペーンを実施し、対策の一層の強化を図った。 ・ユニバーサルデザインの強化のための多言語化サインを整備し、その管理で蓄積した知見を基にサイン設計マニュアルを作成し、全都立公園に展開した。また、非常用発電等防災公園施設を設け、併せて点検簿を作成し、震災時対応態勢を整備した。点検簿は他公園管理者へ展開し、都立公園全体の防災時対応を支援した。 ・井の頭池の水環境の保全、野鳥など動植物のモニタリングやオオタカ営巣時の園内規制の対応など、多様な生息・生育環境に配慮した維持管理と、市民団体と連携した情報共有や園内改善の取組により、多くの成果が得られた。 ・井の頭池の生物モニタリングなどを行うボランティアを組織し活動、自然情報や外来種問題の普及啓発活動等、都民協働の取組みを推進した。 ・井の頭恩賜公園未来へつなごう委員会やアートマーケット運営委員会、桜花期パトロール等様々な機会を通じて武蔵野市や三鷹市、観光協会等と会合を持ち、きめ細かな情報共有を図ることによって地域との連携を確固なものとしている。 ・東京2020大会ライブサイトのワクチン大規模接種会場への転用決定から供給開始まで短時間で工事が必要となったが、オリパラ準備局や福祉保健局、設営業者との打合せを重ねることで、来園者の安全を確保しつつ、新型コロナウイルス感染症拡大防止に貢献した。 <p>【共通事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直営2公園（上野恩賜公園・井の頭恩賜公園）の管理の経験は、管理面のみならず、整備・計画や災害・危機管理対応等、建設局に限らず都の公園事業に携わる職員の技術・ノウハウの取得に非常に重要な役割を果たしている。組織全体の技術力の維持・向上・継承に取り組むとともに、直営公園・各指定管理者それぞれの優れた点を共有し、都立公園全体の管理レベルの向上や連携の強化に努めた。